



学校だより 10月号

泉区緑園五丁目28番

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryukuenhigashi/>

TEL (811) 6710

学校長 副島江理子

知恵を出し合い、豊かな世界を築こう

例年になく長雨が続き、台風接近による登校注意メールも複数回発信させていただきました。ご協力をありがとうございました。この長雨を縫って、4年生・5年生がそれぞれ上郷と鴨川に宿泊体験学習に出かけました。幸いにして本校は、全プログラムを予定通りに行うことができましたが、日本各地では深刻な被害が出ております。心からのお見舞いと一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

先日、新聞に「オリンピックで使用された水着は、特殊素材で軽量化されたものであり、選手の笑顔は、陰で支える様々な人の汗の結晶である。」という中学生の投書が載っていました。脚光を浴びる選手だけではなく、選手を支える人々もすばらしい力を発揮していることに目を向けた内容でした。

私も今回のパラリンピックにおける義足の開発やメダルの秘密の記事を読みました。日本を代表する義肢装具士の臼井二美男さんは、片足が不自由だったある女性が、義足をつけて初めて走ることができたときの喜びの涙に、義足の可能性の大きさを確信して、ここまで取り組んできたそうです。義足の開発には、ロボット開発研究者、工業デザイナー、元オリンピック陸上選手、義肢装具士等がチームとして取り組み、オリンピック記録を超える記録をねらっているそうです。（オリンピック、パラリンピックの記録が分け隔てなくなることを意味しています。）他にも、選手の体と一体化した強さとしなやかさを持った車いすの開発やパラリンピックで授与されたメダルの中には、振ると音の出る球が入っており、メダルによって球の数が違うので、振ることでメダルの種類が分別できること等を知り、大いに感動しました。

自分の視点からだけでは気づくことのできないきめ細かい部分に、たくさんの人々の思いと知恵が詰まっています。そして、そのことが世の中のいろいろな立場にいる人々の夢の実現につながっています。これからの世の中の在り方を示してもらったように思います。

子どもたちも毎日の学校生活の中で、自分の得意なことを生かしたり知恵を出し合ったりしながら、だれかのために、みんなのために、共に力を尽くしていくことの喜びを繰り返し味わってほしいと思います。そういう目で見てみると、今、2年生は、生活科の学習で、1年生が楽しめる「おもちゃランド」を作り上げるために知恵を出し合い工夫を重ねています。4年生は、横浜市役所の方々と「誰もが移動しやすい社会をつくるために自分は何ができるか」を学習しました。6年生ではさらに世界に目を向け、人々が困っている諸問題について調べ、自分は何ができるかを「卒業研究」として取り組んでいます。

8月末に行われた第2回学校運営協議会では、「次世代の学校・地域」創生プランとして、本校の子どもたちがどのように地域の方々と一緒に「よりよいまちづくり」に参画していけばよいかを、委員の皆様と話し合いました。実際に「地域を豊かにする」活動を体験する。こうした小学校での学びが礎となって「知恵を出し合い、豊かな世界を築く」ことに主体的に関わる大人へと成長してほしいと思います。

10月7日で、平成28年度も前期を終了します。保護者・地域の皆様にはご理解とご協力をありがとうございました。学期末の学校では、6年生が、雨で延期になった「大池なかよし全校遠足」に向けての準備や市体育大会に向けた朝練に一生懸命取り組んでいます。互いに声をかけ合い、それぞれの役割に個々の力を発揮する姿には、接する者の気持ちを安心させる揺るぎのない大きさを感じ、その成長に心を打たれます。

後期が始まればすぐに「緑園音楽祭」です。子どもたちはまた、互いに高め合い、すばらしい力を発揮してくれることでしょう。後期もあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。